

重信川シクロクロス in 東温市 大会報告書

1. 大会名

瀬戸内シクロクロスシリーズ 2023-2024 第2戦 重信川シクロクロス in 東温市

2. 開催日

2024年1月7日(日) (シクロクロス体験会は前日1月6日に行いました)

3. 開催場所

愛媛県東温市上村 (一) 重信川河川敷及び重信川かすみの森公園

4. 大会主催者

重信川シクロクロス in 東温市実行委員会

ミズベリング愛媛(事務局 松山河川国道事務所)

5. 協力

東温市 (かすみの森公園使用許可協力)

6. 協賛会社

7. ・SPECIALIZED

・MERIDA JAPAN

・愛媛信用金庫 平井支店

・香川シームレス / Actcyc アクトサイク

・有限会社 上野サイクル

・ライトウェイプロダクツジャパン

・重松食品 明治9年から続く永木町のこんにゃく屋

・ミズタニ自転車

・Vipro's

・四国乳業 らくれん

・WAHOO

・GIANT JAPAN

・サイクルショップフィールド社

・POWERSPORT

・サイクルプロショップ倉橋

8. 出店会社

・マテラの森

・香川シームレス / Actcyc アクトサイク

・アオマルバーガー ・ エスニックグリーンファーム

・道後スポーツ接骨院

・ひろまるコーヒー

・東温市観光物産協会・からあげ銀時

9. 取材

- ・愛媛 CATV 大会の様子 (<https://youtu.be/fE0CWmqN47o?si=X-4v7MOeQc2DkY5A>)
- ・東温市広報

10. 大会出場者数

197 名

11. 体験会参加者数

63 名

12. 大会の様子

本大会は愛媛県中予を流れる重信川河川敷を活用した水辺で行う自転車のイベントです。東温市にある『かすみの森公園』に 1.5 km の特設コースを 2 日間限定で設置をさせていただき、初日に特設コースの体験会を行いました。近隣に住む小学生の親子や団体が自分の自転車屋体験会用のレンタル自転車で特設コースを体験走行しました。最初は難しいかも？と感じていた子供達も次第に慣れて何度も何度も体験走行を楽しんでいました。

昨年度の開催の評判がよく、今大会は県外からの参加者も多く集まりました



大会前日はシクロクロス日本代表監督である竹之内悠氏を招きシクロクロススクールも開催。予約制のスクールはあっという間に定員となる盛況ぶり。竹之内氏からも今大会のコース、会場の立地、東温市の環境の良さなど高い評価をいただきました。

2 日目は各方面からイベントの激励に来場者がやってきました



この日はゲスト選手のシクロクロス日本代表監督 竹之内 悠氏だけでなく、愛媛県初のプロロードレースチーム【ヴェロリアン松山】清水監督・村上選手が来場。清水監督は翌日の新チームお披露目記者発表を前に重信川シクロクロスを視察。開会時に激励の挨拶をしていただきました。重信川サイクリングロード、及び河川を活用した自転車での利活用について高い評価をしてくださり、地域の自転車文化の発展に繋がる活動だと長い時間レースを視察してくれました。



普段はキャンプ客や遊具で遊ぶ子供たちが活用している公園ですが、今回は特別に利用をさせていただきました。もちろん遊具は使用できる状態にしておりましたので、遊具で遊ぶお子様も居ました。自転車レースイベントと一般公園利用は共存できていましたが、安全面を考えると一般公園利用と自転車とは違う場所で楽しめる環境を作る方が安全なのは間違いないでしょう。



表彰式や抽選会では協賛会社の皆様からいただいた景品を提供させていただき、大会そのものが大いに盛り上がる事ができました。ありがとうございます。皆様のご支援のおかげで大会に勢いがつき参加者も閉会まで残って共に大会を創り上げる時間を共有できました。

初日の体験会に63名の来場、二日目に出場した選手は197名、観客の人数を数える事はできませんでしたが、重信川サイクリングロードに隣接しており東温市や松山市からのアクセスが容易なことから、多くの人が上村大橋や土手の上から観戦をしていました。ブース出店による集客もできて、素晴らしい賑いが創出できたのではないかと思います。参加者も合わせて二日間で300名以上の人の流れを創る事ができました。キッチンカーもほぼ売り切れになっており、次回もぜひ参加したいと既に予約が。

今大会での賑いを目の当たりにして、重信川河川敷のポテンシャルの高さにはあらためて感心させられました。このようなアクティビティが常時利用できるようなになれば新しい層を巻き込みながら、今よりもっと大きな人の流れができるでしょう。何よりも未就学児や小学生でも自転車やキックバイクなどで遊べる環境が常時あれば、より地域の発展、子供たちの楽しい経験を得る場になるのではないのでしょうか。そういった場作りこそが現在求められているのではないかと思います。



河川の有効的な活用、既存のサイクリングロードの活用、人の流れを作り地域に繋げていく活動を行いながら、未来を担う子供たちの成長の一助となるような活動をしていきたいと私共は考えていますので、今後ともよろしくお願いします。